



釧路公立大学だより

A Aurora



平成27年度 学位記授与式（平成28年3月23日）

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

CONTENTS

- 学長メッセージ……………2
- 学部長メッセージ……………3
- 附属図書館長メッセージ……………3
- 退職教員あいさつ・退職教員紹介……………4
- 新任教員紹介・大学ニュース……………5
- 留学を終えて・活躍する教員……………6
- 学生のページ……………7
- 卒業生からのメッセージ……………7
- 就職戦線最新情報……………8



蘭香四時

釧路公立大学学長 高野敏行

四月からの4年間も引き続き学長職を務めることとなりました。

学長職は2期までが上限ですので、先がはっきりしたことになります。

これからの4年間はさまざまな波が大学に押し寄せてくるだろうと思われまます。

みなさま、これまでと変わらぬ暖かなまなざしを釧路公立大学に向けていただきますよう、お願い申し上げます。

三月ははじめの出張時に、東京台東区にある朝倉彫塑館を訪ねました。肖像彫刻で有名な朝倉文夫(1964年没)の住まいを遺族が東京都に寄贈したもので、昭和初期の名建築として知られています。耐震工事のため長らく休館中でしたが、再公開が始まったとの記事を読んだのです。仕事場部分は鉄筋コンクリート造りで、100平米くらいのアトリエは天井高は8.5メートル(!)、書斎、二階に東洋蘭栽培のための温室、屋上は全面が庭園で今も多くの植物が植えられていました。仕事場に直接つながる居住部分は数寄屋造りで平屋と二階建てが半々くらい。建物全体で中庭を抱え込む配置になっています。すみずみにいたるまで配慮が行き届いた、うっとりしてしまう建築でした。

思わず、建物について力を入れてしまいました。今回はそこで見かけた扁額の言葉を紹介したいのです。まずは「神在箇中」。清末の文人呉昌碩(1927年没)が自分のブロンズ像を作ってくれた朝倉に贈ったものだという由来が末尾に書かれています。篆書体の素晴らしい書で、私はこれが印刷された絵葉書を購入し、手近に置いています。何度眺めても、エネルギーがそこに集中し、そこから放出されるパワー・スポットのような書です。「神はここにいる」ということなのでしょうが、こ

の書の由来を考えれば、「ここ」とは「あなたの家に」と祝福しているのでしょうか。私の机の上も祝福されている気分です。

もう一つは、生前400鉢もの東洋蘭が置かれていたという温室(現在は猫の彫刻が展示されています)に掛かっていた「蘭香四時」です。のびやかで安定した書体から判断すると「泰山金剛経」の拓本だと思います。(なんでも鑑定団みたいですね。)縦横各50センチ程度の文字が四字どどーんと並んでいます。拓本なので字の部分は白抜きです。「蘭(ラン)はいつも香る」ということなのでしょうが、もう少し読み込めば、人間の品性はつねに自然ににじみ出てくるものだ、さらには、だから内面を磨いていなくてはならない、というやや説教じみたあるいは気取ったものになるのでしょうか。

大きな美術館で大きな展覧会を見るのとは違って、畳に坐ったりしながら、そこで生活しているような気分を味わっていると、こんな生活文化が50年くらい前まではあったんだなという思いが湧いてきます。モデルとの対話を介しながらの彫像製作とその後に続く交友関係、園芸作業という趣味への打ち込み方、職人たちとの対話を重ねながらの住居造り、それらの全部の底にある人生への基本的な姿勢、それらが失われていくことを実感しました。

現在の私はこれとは大きく違った生き方をしています。仕事振りも生活の在りようもです。仕事や生活などは周囲との関係に左右されますから、変化していて当たり前ですが、人生への基本的な向き合い方や姿勢についてはどうなのかな、自分は大丈夫なのかな。これはもちろん私の宿題ですが、学生諸君にとっても宿題と思ってほしいことです。今年はそんな話を、学生諸君にたびたび話していきたいと思っています。

学部長メッセージ



学部長に就任して

釧路公立大学学部長 小林 聡 史

新入生諸君、入学おめでとう。新2年生諸君、迷わず進級してください。新3年生諸君、就活まずは心の準備から。新4年生、就活頑張って、卒業も是非してください。学生に当たり前のことを言うのは、実はまずは自分自身の鼓舞が必要だからです。新年度から学部長を仰せつかった小林と申しますが、この原稿を書いている時点ではまだ心の準備ができていません、多分。

もうすぐ21世紀生まれの学生が大学に入ってきますが、多くの新入生は世紀末に生まれているわけですね。世界的にも日本人はなぜかノストラダムスの大予言が大好きだったので、彼の予言の解釈は1999年に世界が減ぶというものでした。バブル経済がはじけて、やげばちになっていた日本人が多かったのでしょうか。

幸い世界は減びず、21世紀となり、鉄腕アトムは空を飛んでいませんが、ドローンは空を飛び、人工知能は人間を越える(?)とささやかれ、水素燃料車の自動運転が試験中です。2001年9月、アメリカ合衆国へ出張中に同時多発テロに遭遇しました。連邦政府を引退したアメリカ人の友人とワシントンDCでビールを飲んだ数日後の出来事です。フロリダへの

移動中の事件で、何が起きているのか最初は理解不能でした。

卒業したゼミ生の中には5年前の震災で仕事と同僚を亡くし、仮設暮らしの若者がいます。震災も我々に衝撃を与えました。今世紀中には世界人口が100億を超えるのではと言われています。自分の専門である環境問題のイントロになりそうですが、ますます先の読めない世界になっていますね。

個人的な話で恐縮ですが、数年前には脳腫瘍摘出、また横断歩道歩行中にクルマにはねられ死にかけました。明日どころか今日もこれから何が起ころかわかったものではありません。自分の体験で思ったことは、今日という日を大事に生きることの大切さです。

何かを始めるのに遅すぎることはありません。ですが、大学時代に何かしておくか何もしないかで、ほとんどの人が人生変わります。好奇心を全開にしてやりたいことを見つけてください。

ちょっと自分に対する見方を変えてみて、東大や京大に進学していった先輩達もいます。もちろん勉強だけではないですが、自分の持つ無限の可能性に気づいてください。

附属図書館長メッセージ



ふたたび図書館長として

釧路公立大学附属図書館長 白川 欽 哉

二期目の図書館長を拝命することになりました。「図書館の運営・管理について今一度努力しなさい」という任務をいただいたと解釈し、再度ご挨拶させていただきます。

いま最も気になるのは本学図書館の未来像です。そのアイディアは利用者の方々のお声からはもちろんのこと、全国の図書館同士の交流を通じて得られつつあります。そのなかから近年注目されている二点について述べたいと思います。

一つ目は、「電子化への対応」です。かつて図書といえば紙媒体が当たり前で、音楽CDやビデオテープの図書館への設置に違和感を覚える人がいた時代がありました。それが、パソコン等の電子機器やインターネットの普及により大きく変化したことは周知の通りです。現状で書籍はまだ「紙」が主流で、電子版を導入している図書館は少数派です。機器整備、ネットワーク環境、貸出・返却のルール構築、さらには予算編成上の問題が制約要因となっています。本学では、学術雑誌、法律関係のデータベース、電子化された新聞記事を図書館や電算室で検索・閲覧することができます。しかし、

電子書籍となると、そう簡単にはいきません。私も個人で電子書籍を購入したことがありますが、その貸借を想像すると上記の制約が浮かんでしまいます。とはいえ今後利用希望者が増えていく可能性は否定できません。実績のある図書館の先事例に学びながら検討していくつもりです。

二つ目は、図書館を含む学びのコモン・スペース作り。大規模大学で生まれた発想のため本学には馴染まない面もありますが、既存の施設の有効活用を通じて、学生が集って学べる場が増えることを望んでいます。すでに一部の電算室では、先生方の発案で学習スペースが確保されています。また、図書館には大小あわせて3つのグループ学習室（視聴覚機器あり）がありますので、ゼミや勉強会などで積極的に活用していただきたいです。

どこの図書館に行っても感じるの、来館者の「学ぶ、調べる、楽しむ」ことへの意欲。そしてあの場の静寂さと本の匂いは、それを一層刺激してくれるはずです。まずは一番身近の本学附属図書館への来訪をお待ちしております。

退職教員あいさつ



結構な日々

教授 西村 友幸

釧路公立大学には16年間お世話になりました。この期間を歴代学長の任期によって4等分することが可能なので、以下そのような形で回顧させていただきます。

①第Ⅱ期荒又重雄学長時代（2000.4～2004.3）

研究面では鳴かず飛ばずの寡作な時代でした。博士論文を手直した単著『連邦型ネットワークの経営』を出版することはできましたが、荒又学長と若手教員が出版記念パーティを開いて下さいました。教育面でも自分にもどかしさがありました。

②板本猛学長時代（2004.4～2008.3）

これまで学生に辛く当たってきたことを反省するとともに、多人数の授業にもグループワークを採り入れるなど、教育の改善を図りました。研究面では、①の時代に着想したアイデアを漸く文章化し、著名な学術雑誌に論文が掲載されたり、日本経営システム学会から論文奨励賞を授与されたりしました。

③小磯修二学長時代（2008.4～2012.3）

リーマン・ショックや東日本大震災が起こったこの時代、投稿論文が立て続けに不採択となるなど、私個人も試練に直面しました。公立大にも満を持して生協が設立されることになり、発起人に名を連ねました。設立後は監事そして理事に就きました。釧路市図書館基本計画策定委員会の委員長も務めました。

④第Ⅰ期高野敏行学長時代（2012.4～2016.3）

地域デザイン学会の北海道地域部会長を3年余り務め、外部講師を招いて研究会を催しました。研究会は本学でも地域経済研究センターとの共催で2014年7月に実施され、大変盛況でした。他にも日本経営学会の北海道部会を二度、本学で開催しました。別の学会からは全国大会開催のオファーもあったのですが、お引き受けできず心残りです。「学会賞をもう一度」と意気込んで論文を何本か書き上げましたが、こちらの方面でも力及ばず。しかし、私のゼミ生が大学祭の模擬店でチョコバナナ、玉こんにゃく、揚げアイスといった戦略商品の投入でメガヒットを飛ばしてくれました。冥利に尽きます。



退職のご挨拶と御礼

准教授 広垣 光紀

この度、3月末日をもちまして本学を退職するにあたり、この場をお借りしてお礼とご挨拶を申し上げます。

本学の学部教育では、主にデータ解析・リサーチに関わる基礎科目（統計基礎等、コモン・ツールズ科目）および専門科目（データ解析、経営統計等）、ゼミナールといった諸教育活動に携わらせていただきましたが、釧路公立大学の学生の皆さんとの授業・演習活動はとても楽しく、充実しておりました。授業を進める中で、ノートテイキングや復習をしつ

かりする真面目な受講姿勢に感心いたしましたし、ゼミナール活動についても、非常に活発・積極的に課題に取り組んでもらい、これら教育による交流を通じ、私自身も学生の皆さんと共に、日々学び成長する機会をいただけていました。

転任先においても、本学での経験を活かしながら、教育・研究に日々研鑽を積み、教育者・研究者としての貢献を微力ながら果たしてまいりたいと存じます。

釧路公立大学の教職員の皆様、そして学生・卒業生の皆様の今後のご活躍とご健勝を心から祈念して退職のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

退職教員紹介

●小野瀬 善行 〈准教授〉 「教育学概論」「教育行政学」「教育社会学」「教師論」「教育実習Ⅰ・Ⅱ」「事前指導」「事後指導」を担当
9月30日をもって退職されました。

新 任 教 員 紹 介



講師 田中 達也

(担当科目 教育学概論、教育行政学ほか)

昨年10月より教職課程の講師として着任いたしました田中達也と申します。これまで30年以上にわたって京都で暮らしてきた私にとって、釧路のような静かな環境で研究・教育活動を行うことが出来るのは大変光栄に存じます。また、かつて滋賀県の彦根で経済学部だけのキャンパス生活を過ごしてきたため、ある種の懐かしさも感じています。

私は、滋賀大学経済学部・大学院経済学研究科で6年間西洋経済史の観点からドイツの職業教育について研究を行いました。その後、教育学の観点から研究を進めるために大阪府立大学大学院文学研究科教育学専修に進みました。修士課程と博士課程の5年間で、研究内容は職業教育から高等教育へ、対象国もドイツからオーストリアへ変わりました。オーストリアの高等教育に着目したのは、1990年代に新自由主義の影響を受けて高等教育の多様化が始まったためと、地理的位置から周辺諸国からの影響が強いためです。

ドイツ語圏の高等教育は、一般教養を行う総合大学と、実

践的な教育を行う専門大学に二分されています。ドイツは、政治的に分裂していた時期が長く各地域の自立性が強いいため、各州が主体となって総合大学・専門大学を設置しました。それに対し、オーストリアは第1次世界大戦後に小国家への転落により成立したことから連邦政府が高等教育の権限を握る構造になっています。しかし、1980年代後半以降の財政悪化と94年のEU加盟により政府に財政的余裕がなくなった結果、国営企業を民営化するとともに、私企業や地方政府の参入が可能な専門大学や私立大学を新設しました。つまり、総合大学＝政府と専門大学＝地方・企業という構造が出来上がりました。また、かつてハプスブルク君主国として東欧・南ドイツ・北イタリアを支配していたことから周辺国の動向にも注意を払っています。以上のことから、オーストリアの高等教育は、初等・中等教育よりも時代の流れを受けやすいことから研究を始めました。

教職課程では、将来の進路として教員に興味を持ち、教員になることが出来るように導くとともに、教師という仕事に魅力が感じられるように尽力します。教育問題といえば、テレビや新聞などで報道されている学力問題や就学援助の印象が強いのですが、教育委員会を軸にした地域が最も重要な役割を果たしています。民間企業や公務員への就職を考えておられる方も教育に関心を持つことができるような授業を展開して参りたいと存じます。よろしくお願いいたします。

●北島 義和 (講師) 「社会学(現代の社会)」「地域社会学」「地域特殊講義A」などを担当

大学ニュース

— 平成27年度を振り返って —

- 4月1日(水) 交換留学生来日
韓国の牧園大学より全 大虎(ジョン テホ)さんが本学の交換留学生として来日した。
- 4月9日(木) 第28回入学式
午前10時より本学28期生の入学式が挙行され、324名(経済学科213名、経営学科111名、男246名、女78名)が晴れて入学した。
- 8月9日(日) オープン・キャンパス
本学の関心を高めてもらうため、オープン・キャンパスを開催。今年で19回目となり、385名の参加者は熱心に話を聞いていた。
- 9月1日(火) 交換留学生来日
台湾の明道大学より林 均庭(リン キンテイ)さんと蔡 承康(サイ ショウコウ)さんが、ロシアのユジノサハリンスク経済法律情報大学よりLeonтьев Павел(レオンチェフ パーヴェル)さんとМоторина Светлана(モトリーナ スヴェトラナ)さんが本学の交換留学生として来日した。
- 10月2日(金)～10月30日(金) 公開講座
平成27年度の公開講座を本学の岩澤哲教授、皆月昭則教授、中村隆文准教授、広垣光紀准教授がそれぞれ個別のテーマで講演を行った。

- 10月5日(月) 特別講演会
佐々木地域計画事務所所長 佐々木滋生氏より「産学官連携による地域活性化の実像」というテーマで講演があった。
- 10月9日(金)～11日(日) KPUフェスタ(大学祭)
今まで積み上げてきた実績と経験に趣向を凝らした様々なイベントが催され、より一層、盛況なものとなった。
- 11月5日(木) 特別講演会
日本大学 経済学部教授大森信氏より「掃除と経営－優良企業は掃除好き!？」というテーマで講演があった。
- 11月19日(木) 平成28年度特別選抜試験
全国より143名(経済学科100名、経営学科43名)の志願者があり、その結果115名が合格した。
- 平成28年度一般入試(前期日程)
大学入試センター試験をもって選考。472名(経済学科346名、経営学科126名)の志願者があり、3月5日(土)に合格発表が行われた。
- 3月8日(火) 平成28年度一般入学試験
[公立大学中期日程]
釧路・札幌・盛岡・東京・大阪の5会場にて実施。1,489名(経済学科1,130名、経営学科359名)の志願者があり、3月21日(月)に合格発表が行われた。
- 3月23日(水) 平成27年度学位記授与式
第25期の卒業生277名が公立大生として堂々と学位記の授与を受け、さらに成績優秀者5名、アプリ開発による各賞の受賞を通じて本学の名誉を著しく高めた者1名が特別表彰された。式の終了後、卒業生は学友と記念撮影などをし、別れを惜しみながら巣立っていった。

留 学 を 終 え て



カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科4年 大加瀬 周 平

カナダに留学していた4ヶ月間、はじめは英語の自信のなさからホストファミリーと話すのも躊躇してしまうほどでした。しかしカナダでの生活を続けているうちに、

それらはすべて意欲によって補えるものだ実感しました。相手を知りたい、異国の文化を知りたいなどという気持ちが言語の知識量だけでなく、伝える会話力に変わります。第一言語が通じない環境での生活により、相手を尊重し理解しようと努力する心があればだれとでも分かり合えると気づき、それがこの先の大きな自信になりました。



カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科3年 太刀川 雅 人

このカナダ留学で、多くの人たちと繋がりを築けたことが最も大切な私の財産になりました。現地では英語力

の向上のことばかり考えて悩み、努力していましたが、クラスメイトとお互い教え合って成長し、ホストファミリーは優しく、本当の家族のように接してくれ、様々なイベントに参加して人と交流を持ち、友達と共に過ごした思い出の方が印象に残っており、大事であると留学を終えた今は思います。この素晴らしい経験ができたことを私は誇りに思い、感謝しています。



カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科3年 大 井 香奈美

私が留学を決意した一番の理由は、自信をつけるためでした。始めは意思疎通もままならず自信喪失の毎日でしたが、慣れない土地で勉強し、アジアなど他国から留

学に来た人たちとも友好関係を築けたことは大きな自信となったように思います。成功したことも、失敗したことも、カナダで経験したこと全てが私を成長させてくれました。また、バンクーバーは移民が多い土地で、ネイティブ以外の英語も学べたことやたくさんの国の文化に触れられたことも、とてもよい刺激となりました。最高の4か月でした。



大韓民国・牧園大学派遣

経営学科3年 奥 周 悟

初めての海外生活でしたが、不思議と不安もあまりなく毎日とても楽しく過ごすことができました。着いたばかりの頃はまだ韓国語に慣れていなくて、意思疎通にも

どかしい思いもしましたが、現地の学生や他の留学生と話しているうちに自然と上達しました。また、いろいろな国の人と接することで、それぞれの国の文化も学ぶことができました。毎日韓国料理を食べて、辛い食べ物にも強くなりました(笑)。留学を支えてくださった学校と家族に心より感謝しています。



台湾・明道大学派遣

経営学科4年 栗 原 育 嗣

留学を振り返ると「もう1年台湾で生活したかった」

というのが率直な感想です。それほど台湾は人々の心が優しく、古き良き日本を思い出させるような素晴らしいところでした。語学面での苦労はたくさんありましたが、現地の人々との交流や美味しい食事に毎日癒されていました。機会があればまた訪れてみたいと思っています。

活 躍 す る 教 員



本学で活躍されている教員の著書をご紹介します。

『不理性の哲学』
中村 隆文 准教授
(みすず書房) 2015年12月

我々は特に仲が良いわけではない人とも協力し合うなど、それなりに他人とうまく付き合っている。社会哲学者たちの多くはこれについて「理性の賜物だ」と結論づけたがるが、そこには人間独自の不理性が含まれていることを忘れてはならない。本書は18世紀の哲学者デイヴィッド・ヒュームの思想を基に、不合理な人間性の意義を問いただすものである。

入|学|お|め|で|と|う

体 育 会

体育会会長

笠原 宏太



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。釧路公立大学へようこそ。これから始まる大学での生活に様々な期待や不安を抱えていると思いますが、大学というところは良い意味でも悪い意味でも自分次第です。今までみなさんは小学校、中学校、高校と先生や友達に囲まれて生活していましたが、大学ではクラスもなく、自分が何か間違えた時に注意してくれる担任の先生もいません。また自分が学びたい科目や必修科目で時間割を組むので、毎日朝から授業があるわけではありません。多くの方が下宿や一人暮らしなので、自分の生活リズムを早めにつかむことが大事です。

大学では勉強以外にも部活動、サークル活動、アルバイトなど多くの人と出会う機会があるので、できるだけたくさんの人と触れ合い、様々なことを吸収してほしいです。また、大学生活では自由に使える時間が多くあるので、新入生のみなさんには何か新しいことにチャレンジしてほしいです。そして四年後に充実感を持って卒業していただきたいです。

文 化 部 会

文化部会長

富山 寛太



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

これからの大学生活はみなさんにとって初体験の連続かと思えます。授業、バイト、サークル、部活と、自分の生活リズムを自分ひとりで決めるのも初めてのことかと思えます。その他にも自炊するのが初めてという方もいるかもしれませんが、大学という場所はすべてが学生の主体性に任されるので、みなさんが思うような生活が送れます。ひとりを満喫するのも良いかもしれませんが、より充実させるためには友人や先輩が必要かと思えます。

部活やサークルは、そのような意味でも良い場所です。活動をして時間を充実させられるうえ、先輩や友人たちとも出会えます。また、先輩であれば生活への助言をもらうこともできるでしょう。そういった意味では中学・高校よりも人との繋がりが重要になってきます。

楽しい大学生活を送るためにも、友人を大切に、先輩を頼ってください。みなさんの良い大学生活を心より応援しています。

<体育会> 27団体

男子アイスホッケー部
硬式テニス部
硬式野球部
サッカー部
準硬式野球部
卓球部
男子バスケットボール部
男子バドミントン部
女子アイスホッケー部
男子バレーボール部

男子ハンドボール部
アメリカンフットボール部
弓道部
剣道部
女子バレーボール部
男子ソフトボール部
柔道部
ラグビー部
陸上競技部
ソフトテニス部
女子ソフトボール部

女子バドミントン部
合気道部
フットサル部
カーリング部
女子ハンドボール部
ミニバレーサークル
<文化部会> 33団体
軽音楽部
放送研究会Visions
美術部やちぼうず会

カヌー部BOW
茶道部
吹奏楽部
TRPG研究会
ボランティアサークル
写真部
スノーボード部
囲碁部
演劇部
ストリートダンスサークルOZ
軟式野球部

キャンプビーイング部
天体観測部
国際交流部
旅行部
フロアボールサークル
NBA同好会
弦楽アンサンブル
女子フットサル☆CBS
釧路公立大学YOSAKOIソーランサークル
K.F.C部(釧路フィッシングクラブ)
K-SCAN

スケートサークル
釧路公立大学アペラコースサークル
サバイバルゲーム部
K.S.F.GP
ボウリングサークル
模型部KMC
キャリアデザインサークル AXIS
観光まちづくり研究部

卒|業|生|か|ら|の|メ|ッ|セ|ー|ジ



大学生活を振り返って

経済学科 植田 真未

釧路公立大学で過ごした4年間は、出会いにも恵まれ、毎日が楽しく充実したものでした。大学では高校と違い、自分で時間割を組みます。ミクロ経済学、マクロ経済学など様々な分野があり、その中から興味のあるものや初めて学ぶものを選択することで、経済学の知識がより深まりました。ゼミは「情報処理論演習」に所属し、情報を集め分析し、自分の力で経済状況を読み解く力を身につけることができました。さらに、まとめたものを発表し、それを繰り返すことで、自

分の考えを相手に伝える力もつけることができました。

学業以外では、飲食店のアルバイトが私を成長させてくれました。接客だけではなく、売り上げや集客数を上げるために、チラシやPOPを作成したり、新メニューを考案したりしました。お店とお客様の両方の立場になって考えた結果、売り上げに結びつけることができました。この経験は、社会人になってからも自分の武器になるものだと思います。

就職活動は思い通りにいかず落ち込むこともあると思いますが、上手く気持ちを切り替え、自分のペースで頑張ってください。大学生という時間は瞬く間に過ぎてしまいます。大学での出会いや、培った経験は必ず自分の力になります。限られた時間を有意義に使い、新しいことにもどんどん挑戦してください。みなさまのご活躍を心より願っております。

就 職 戦 線 最 新 情 報

卒業予定者の内定先リスト (現在の内定状況) 2016/03/23

- 農林漁業** 大下農場
- 建設業** 石山工務店、一条工務店、北弘電社、弘栄設備工業、坂野建設、ジョンソンホームズ、大和ハウス工業、地崎道路、日本道路、北海道セキスイハイム、宮坂建設工業
- 製造業** アルピオン、きのとや、宏和工業、三海幸、三葉化工、三和化学研究所、武田薬品工業、津田商店、富士発條、丸石製菓、みちのくコカ・コーラボトリング、持田製菓、柳月
- 卸売・小売業** アークス、旭川スズキ販売、イオン北海道、いずみホールディングス、帯広日産自動車、北の達人コーポレーション、キャタピラーイーストジャパン、グレーストーン、クレタ、コープさっぽろ、コメリ、西條、札幌トヨペット、サンボット、島田燈器工業、しまむら、シンリョウ、生活協同組合共立社、生活協同組合コープあおもり、ツルハ、DCMホームマック、ティーピーパック、テーオー小笠原、トップ、西松屋チェーン、熱原釧路、ネットヨタ旭川、ハピネット、フラワーショップいしざか、プリチストンタイヤジャパン、ほくやく、北良、北海道クボタ、北海道コカ・コーラボトリング、北海道スバル、丸三みうら楽器部、みやぎ生活協同組合、山善、ユアサ商事、ユニバース、よねや商事、ラルズ、リコージャパン
- 金融・保険業** 旭川信用金庫、網走信用金庫、岩手銀行、渡島信用金庫、帯広信用金庫、北日本銀行、七十七銀行、清水銀行、空知信用金庫、損保ジャパン日本興亜、大和証券、東京海上日動火災保険、十勝信用組合、西尾信用金庫、日本銀行、野村證券、北門信用金庫、北洋銀行、北陸銀行、北海道銀行、北海道信用漁業協同組合連合会、北海道信用農業協同組合連合会、北海道信用保証協会、北海道労働金庫、稚内信用金庫
- 運輸・情報通信** アドヴァンスト・ソフト・エンジニアリング、INDETAIL、エア・ウォーター物流、NECソリューションイノベータ、NECフィールディング、NTTタウンページ、NTTデータフォース、エフブレイン、OSK、OST札幌、ジェネス、ジャパンテクニカルソフトウェア、トーテックアメニティ、ナラサキスタックス、日新、日本郵便、東日本電信電話、東日本旅客鉄道、ホープス、北海道キューブシステム、北海道新聞社、北海道中央バス、北海道旅客鉄道、三ツ輪運輸、ヨコウム、ロジネットジャパン
- 不動産業** 太平洋興発、大東建託、苫小牧港開発、日動、藤井ビル、リベアハウス、ロゴスホーム
- サービス** アイ・ケイ・ケイ、アイックス、阿寒グランドホテル、足寄町商工会議所、医療生協さいたま生活協同組合、ANAクラウンプラザホテル釧路、ANA新千歳空港、オータ、音更町農業協同組合、カナモト、キャリアデザインセンター、釧路サイロ、釧路商工会議所、クリーク・アンド・リバー社、KSP・EAST、京王プラザホテル札幌、甲賀伸彦税

理士事務所、合田観光商事、幸楽苑ホールディングス、Going、知床グランドホテル、正栄プロジェクト、進学会、仙台卸商センター、大学生生活協同組合連合会北海道事業連合、トーホウリゾート、東武トップツアーズ、十勝勤労者医療協会、ニチケアパレス、日本総合テレビ、ニラク、はま寿司、浜中町農業協同組合、飛騨農業協同組合、フォーレイ、フォーシーズ、プリングアップ史、ホクレン農業協同組合連合会、北海道空港、北海道厚生農業協同組合連合会、北海道中小企業団体中央会、三沢入瀬観光開発、三ツ星レストランシステム、芽室町農業協同組合、吉岡経営センター、労働者健康福祉機構、若竹会

■**国家公務** 海上自衛隊、皇宮護衛官、陸上自衛隊

■**地方公務** 秋田県警察、茨城県警察、江別市役所、大阪府警察、音更町役場、鹿角市役所、北見市役所、釧路市役所、釧路市役所(消防)、東京消防庁、別海町役場、北海道警察、北海道庁、北海道庁(農業普及員)、宮城県警察、室蘭市役所

平成27年度卒業予定者の就職状況 2016/03/23現在

1. 求人件数及び内定状況

区分	求人件数	卒業(予定)数	就職希望者	内定者数	内定率(%)	未定者数
男子		193	179	167	93.3	12
女子		88	83	78	94.0	5
共用	924	—	—	—	—	—
合計	924	281	262	245	93.5	17

2. 進路別内定状況

進路	男子				女子				計			
	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%
民間	155	143	12	92.3	78	73	5	93.6	233	216	17	92.7
公務	24	24		100.0	5	5		100.0	29	29	0	100.0
計	179	167	12	93.3	83	78	5	94.0	262	245	17	93.5
その他進学	2	2		100.0	0				2	2	0	100.0
無業	7		7	0.0	2		2	0.0	9	0	9	0.0
計	9	2	7	22.2	2	0	2	0.0	11	2	9	18.2
合計	188	169	19	89.9	85	78	7	91.8	273	247	26	90.5

3. 産業別地域別内定状況

業種	釧路管内		北海道内		北海道外		計		合計	割合
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
製造	1		9	3	9	6	19	9	28	11.4
卸売・小売	1	1	18	7	16	7	35	15	50	20.4
金融・保険	1	2	19	8	5	5	25	15	40	16.3
運輸・情報	1		16	5	8	5	25	10	35	14.3
サービス	2	4	18	12	19	8	39	24	63	25.7
公務	1	1	15	2	8	2	24	5	29	11.8
計	7	8	95	37	65	33	167	78	245	—
合計	7	8	95	37	65	33	167	78	245	100.0
割合	15		132		98		245			
	6.1%		53.9%		40.0%		100.0%			

平成28年度年間スケジュール

- 4月1日……学年始め
- 8日……入学式
- 9日……新入生オリエンテーション
- 11日……全学年オリエンテーション
- 12日……前期授業開始
- 6月25日……開学記念日
- 7月27日……前期定期試験(8/4迄)
- 8月1日……夏季休業開始(9/22迄)
- 9月22日……前期終了
- 9月23日……後期授業開始
- 10月7日……大学祭(KPUフェスタ)(10/9迄)

- 11月24日……平成29年度特別選抜試験
- 12月23日……冬期休業開始(1/9迄)
- 平成29年
- 1月10日……授業開始
- 1月25日……後期定期試験(2/2迄)
- 3月1日……卒業生発表
- 8日……平成29年度一般選抜試験
- 16日……春期休業開始
- 23日……学位記授与式
- 31日……後期終了

平成28年度前期授業料の納付について

前期授業料は5月2日までに納めてください。最寄の金融機関から、同封の「納入通知書兼領収書」でお振込みください。特別な事情により授業料の分割納付や減免を希望される場合は、学年毎に指定された受付日に関係書類を提出してください。

編集後記

赤ちゃんの成長はとても早い。誕生から1年もすると、いろいろなことが出来るようになる。身体的な成長曲線は徐々に緩やかになり、やがてはフラットになるかもしれない。しかし、常に好奇心を持ち、新しいこと・モノに触れ、チャレンジし続けることなどで得られる成長はとまらない。親としては、子どもが常に成長を続けられるように、それを見守り、時に支えながら、自分自身も負けじと成長していくことが、子どもの成長や新たな行動に対応していくためにも必要なのだと思う。

釧路公立大学だより 第53号
平成28年4月1日発行

◎発行元
釧路公立大学
〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号
TEL 0154-37-3211(代)
FAX 0154-37-3287
学生課: TEL 0154-37-5091

URL: <http://www.kushiro-pu.ac.jp/>

◎発行日
毎年2回(4月1日、10月1日)